

「今」を楽しみ「将来」へつなげる夏休み

ながれ

森 遥香 (もり はるか/大学生)

東京オリンピックが開催され誰もが良い年になるであろうと考えていた2020年、私達は新型コロナウイルスとの戦いで生活様式を変化させざるをえなくなった。当たり前前に会えると思っていた友達にも会えない。大学も入校禁止。今年度に入ってから大学はリモート授業を初め、友達と話すのもZoomというSNS上が主流になった。

さて、新しい生活様式が浸透しつつある2020年が早くも夏に差し掛かっている。今年の夏休みは例年とは違った夏休みになりそうだ。まず、イベントが続々と中止されている。例えば、花火大会やお祭り、サークルの合宿などである。そして、もちろんのことだが今は海外旅行や海外留学にはいけない。私達大学生にとって、このようなイベントができないということは夏休みの醍醐味が全て失われたようである。しかし、このような状況に対して、どうにかして今年の夏休みを楽しく有意義なものにしようと様々な代替案が上がっている。例えば私の入っているサークルでは、夏休みの合宿をオンラインで開催することになった。また、海外留学の代わりにオンラインでサマースクールが開催される大学もでてきた。日本にいながら海外の大学の授業を受けられるのである。これは韓国やオーストラリア、アメリカなど世界中の大学で開催されるので、場合によっては複数の大学に参加することも可能である。

このような「今」を楽しむ過ごし方だけでなく、「将来」に向けて「今」に自己投資をするという夏休みの過ごし方もある。例えば、私の友人で就職活動に向けて公認会計士の勉強をしている人がいる。彼女はコ

ロナによる就職氷河期がくることを危惧して将来のために今勉強しているのだ。ちなみに私は外国語学部に所属しているのだが、私を含め学部の友人の多くが将来の海外留学に向けてTOEFLやTOEICといった試験に向けて日々勉強している。夏休みはこうした将来の為の勉強に費やす大学生も多いのではないかと考えられる。

勉強面以外での自己投資としては、料理や運動などの趣味が挙げられる。これらの趣味は楽しいだけでなく、続けていると自炊できるようになり健康になるといった将来の自分に役立つ力が得られる。例年のような楽しみ方ができない今年の夏休みを将来の自己投資に費やすのも一つの有意義な過ごし方だろう。

ここまで、夏休みの楽しく有意義な過ごし方といった前向きな考えを述べてきたが、この前向きな考え方をするには理由がある。今、前向きな考えで生きていないと、将来につながらないからだ。本当はイベントも行きたいし友達とも遊びたい。留学にも行きたいし大学生のうちに世界の国々を旅したい。しかしこれらの夢はコロナによって実現不可能になりつつある。まさに青天の霹靂だ。だが、私達が夢のために今あちこち出かけて知らぬ間に感染者になり、他の誰かが亡くなってしまうということはあるとはならない。命より大切なものはない。だから今年の夏休みはコロナによるこの危機的状況を乗り切るために、新しい形の楽しく有意義な過ごし方を模索する。「今」を楽しみ、「将来」の夢につながるような過ごし方を。